

ふみびと

第281号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

不便さの中に 眠る温度

人の温度を感じるもの

人と気軽に会うことができなくなってもうしばらく。会う理由ではなく、会わないといけない理由がないと会うこともはばかられるのも、どこか慣れてきてしまっていることに少なからず寂しさを感じます。

幸いというべきか、今はパソコンやタブレットなどを通じて「対面」して会話をすることができるので、直接会わなくても人と「接する」ことができますが、なんとなく

目の前にいて話すのとは異なる違和感のようなものも。仕事で取引先と酒席をともにすることが多いという知人によると、酒席でならすんなり進む話も、会わないとスムーズにいかないことも多いそうです。話の内容は直接会っても、テレビ通話でも変わらないはずなのに、直接会った方が話しやすいのは人の「温度」を感じられるから、そんな気がし



ます。相手の呼吸だったりちよつとした感情の動きだったり、目の前にいないと感じられない「温度」のようなものに安心できる部分を感じているのかもしれません。

例えば同じ文面でもメールで読むのと、手紙で読むのでも少し感じ方が違うのも相手の持つ「温度」の伝わり方の違い。そんな気がしています。離れていてもある意味では「会える」便利な世の中。

あんなにひどかった暑さもずいぶんと落ち着いてきた。雨の降る朝晩などは肌寒いくらいで、もうすぐそこで次の季節が待っていることを実感する。ついこの間まで、毎日のように「暑過ぎる」と文句を言っていたはずなのに、いざ季節が去っていきこうとすると、なんだか寂しい気持ちになるのだ

思う。新緑の爽やかな季節の時から、日中の日差しの思わぬ強さに夏の気配を感じてワクワクしたり。ゆく夏を見送りたい。

いつもの夏へ

青空に浮かぶ入道雲の鮮やかさにも暑さも忘れて見惚れたり。夕暮れの中で響く蝉の声に、郷愁の念を抱いたり。そして、今年はまだ戻らない「いつもの夏」への思いに浸ることも多かった。次会う時には、思う存分季節を味わえることを祈りながら、去りゆく夏を見送りたい。

風にゆられて誰かに届け!

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務返信筒にのりをつけて、局宛封下まで流し交わります。



次回発送日

9月の次回発送日は通常通り15日と30日の予定です。送りたいお手紙がある場合には、2日前の13日または28日までに事務局に到着することを確認の上、余裕をもってポストに投函してください。

新機能追加

マイページ上の「ふみ友リスト」への追加方法において、3色で色分けができるようになりました。また、文友リスト内のふみ友の表示を、現在村に在籍する方を表示する仕様に変更しました。